

第 18 回長崎国際大学 学位授与式

令和 3 年 3 月 13 日 於：本学体育館

「ワンマンカー 乗客一人 春発ちぬ」外出自粛でワンマンカーの中にも一人乗客、コロナコロナの 1 年、ここに第 18 回卒業式、ご来賓も保護者、在校生の姿もない本日はありますが 449 名の皆さんの覚悟の瞳に私も勇気をもらいます。

世界で感染者 1 億 1000 万人、死者 250 万人を出したコロナウイルス。おそらく 1000 年、2000 年先、人類の歴史の続く限り語り継がれるでありましょう。しかしコロナより学んだ事もありました。中国の武漢に発生したウイルスは瞬く間に世界を汚染し、この日本の西端佐世保にまで飛来し私達は国際化の真只中に存在していることを認識しました。

グローバル化はとどめようがありません。更に人類はコロナに立ち向かい予防ワクチンを開発しました。人類の創造性とイノベーションの高さを示しています。更に人生には想像もつかないことが興り得るとの心得であります。未来を拘束することはできません。

これから生き抜く折、どうか世界を見つめてください。自身が進化するための創造性を身につけてください。そして、何が起こるかわからない未来の為、一日一日を真剣に生きてください。

「冬来りなば 春遠からじ」やがてコロナウイルスも終息するでしょう。きっと皆さんにも新しい世界が待っています。長崎国際大学での生活を誇りに、友人や先生との思い出を胸に、人生を歩いて行って下さい。皆さんの未来が輝かしいものになることを心より祈って、理事長告辞といたします。

学校法人九州文化学園

長崎国際大学

理事長 安部 直樹